

新聞だけじゃない！新聞読者

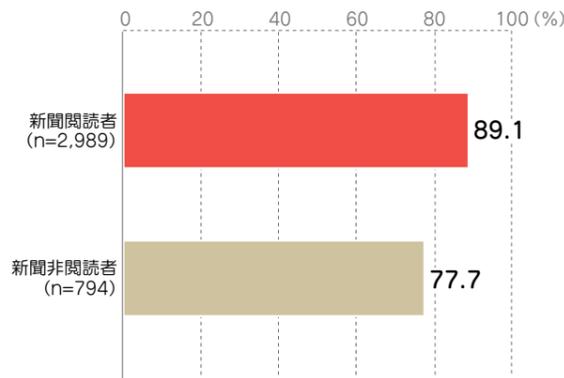
今回の調査でテレビを視聴している人は97.3%でしたが、「毎日見る」と回答した人の割合を新聞読者の有無別に見ると、新聞読者の方が「テレビを毎日見る」ヘビー視聴者が多いことがわかります。新聞読者は非読者に比べてラジオ、雑誌の接触割合も高くなっています。一方、インターネットの利用については、新聞非読者が上回っています。

情報摂取に関する意識や態度でも、新聞読者は「世の中のおおまかな動きは大体把握していると思う」「情報を利用するときには、その背景を考えるようにしている」「自分が直接関わりのないことでも知っておきたい」「自分と異なる意見でも謙虚に耳を傾ける」「一つの情報を複数の情報源で確認する」などで非読者とのスコアの差が大きく、幅広い情報を自ら積極的に取りにいく傾向がうかがえます。

新聞読者は新聞以外のメディアにも広くアンテナを張り、さまざまな情報を得ようという意識が高い「情報高感度」な人たちと言えるのではないのでしょうか。

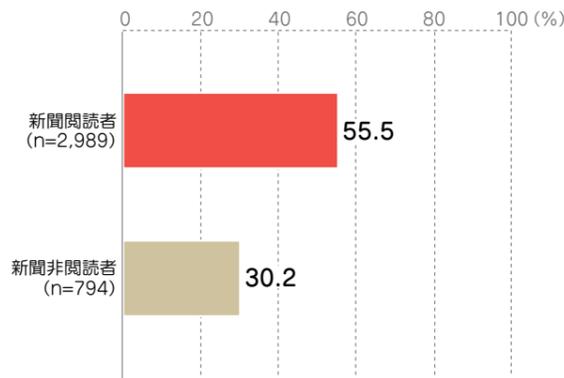
図13 | 他のメディアに接触している人の割合

テレビを毎日見ている人

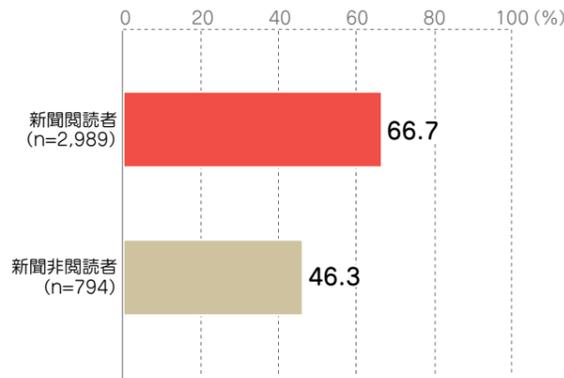


※接触頻度を問わずテレビを見ている人は、新聞読者が98.2%、新聞非読者が94.2%

ラジオを聴いている人



雑誌を読んでいる人



インターネットを利用している人

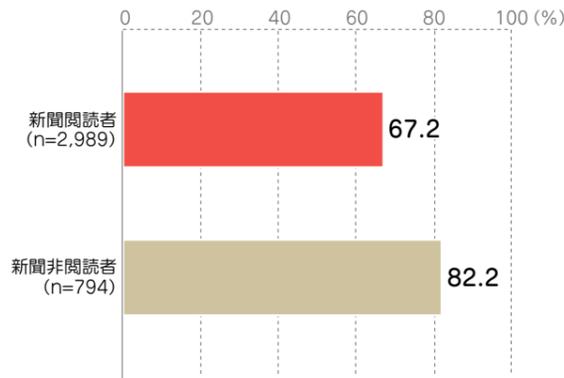
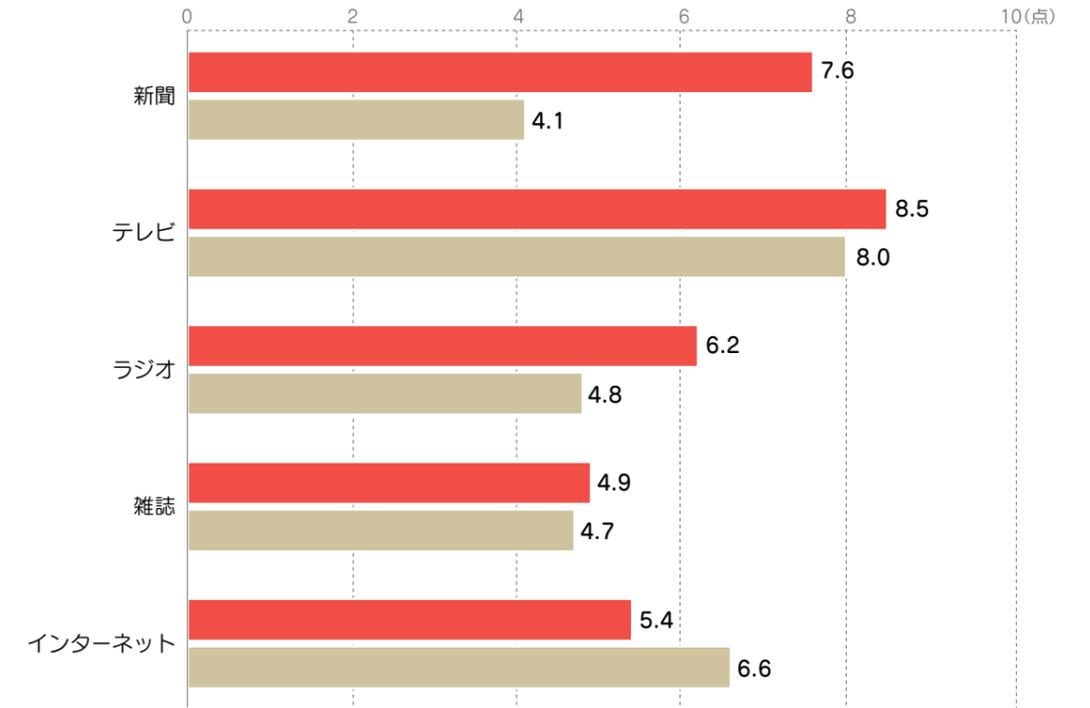


図14 | 各メディアの社会的必要度



※各メディアについて、社会にとってどの程度不可欠かを「なくてはならない」=10点、「なくても困らない」=0点の11段階評価で尋ねた。スコアは平均点
 ※インターネットは、「新聞社のニュースサイト(電子版の新聞を含む)」「新聞社以外のニュースサイト(Yahoo! ニュースなど)」「ブログやコミュニティーサイト、SNS」のうち、最もスコアが高かった項目を集計

表3 | 新聞読者と非読者の情報に関する意見・態度

	新聞読者 (n=2,989, %) A	新聞非読者 (n=794, %) B	差 (A-B)
世の中のおおまかな動きは大体把握していると思う	53.6	36.0	17.6
情報を利用するときには、その背景を考えるようにしている	66.6	54.0	12.6
自分が直接関わりのないことでも知っておきたい	40.3	31.7	8.6
自分と異なる意見でも謙虚に耳を傾ける	82.5	74.4	8.1
一つの情報を複数の情報源で確認する	63.5	55.9	7.6
最新の情報を他人より早く知りたい	39.7	34.9	4.8
情報の価値は、使う人によって変わると思う	90.2	85.9	4.3
有益な情報を得るには、それなりのコストや労力がかかるものだ	56.0	53.0	3.0
興味あることや仕事に関する事で知らないことがあると気になる	76.2	75.4	0.8
大量の情報をまとめて一つの結論を出すことができる	22.5	22.2	0.3
情報の取捨選択をするのが得意だ	27.7	27.5	0.2

※スコアは「あてはまる」と「まああてはまる」の合計